

# コロナに屈せず見せる底力 **中大スポーツ**

中大スポーツ  
7月29日 水曜日  
令和2年(2020)  
特別号  
久保 賢一 選手  
久保 賢一 選手  
久保 賢一 選手

決定戦にてFKを決め姿を見せる久保と抱き合う大選手たち(写真提供:中大サッカー部)

改めて気づいたんだ  
その大切さに  
サッカーができること



# 1st Round 開幕

中大スポーツ夏の陣「開幕」  
「R.東日本カップ」2020第94回  
開東大学サッカーリーグ戦前期(他  
RKUフットボールリーグ)に遂に幕  
を閉じた。先陣を切ったのは、開東大  
学サッカー連盟に所属する1部・2部  
リーグ。1部リーグは7月5日、2部  
リーグは4日に試合が行われた。中  
大は初戦、1部リーグの専大と対戦し  
0-1の黒星スタート。しかし翌週  
の初戦大戦では、2-1で今期  
の初金星を飾った。



ドリブルで敵陣に切り込む大久保

## 感染予防対策◎

### マスク

①作った経緯  
サッカー部の活動再開に向けて選手スタッフの皆様には何らかの手助けが出来るマスクを作成しました。

②カラーの由来  
中大のチームカラーは金茶です！全員が揃って金茶のマスクを着けたらカッコイイです。

エンブレムも刻まれている部特製マスク

試着中、ピッチ外の部員たち全員がお揃いのマスクを着用していました。このマスクは中大サッカー部の母の方々の寄付によって、コロナ感染防止のために製作された特製マスクです。感染予防だけでなく、部の結束力向上にもつながるこのマスク。女子マネージャーの方々に話をうかがった。

無邪気に遊んでいた小さい頃、四季折々の年中行事は私の心行手づかされた。季節の節目ともなるお揃いのマスクと、お揃いのマスクを着けたらカッコイイです。お忙しい中取材にご協力いただきありがとうございます！

## 起死回生 勇往邁進

未曽有の事態だった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、活動停止を余儀なくされた中大スポーツ界。先の見えない不安に、やりきれない思いが広がった。そんな中大スポーツ界に再び光が差しこめてきた。中大スポーツ界の時計の針が動き出した。中大スポーツ界は4月4日に始まる予定だった開東大学サッカーリーグ戦前期。6月12日、開東大学サッカー連盟は2度に渡る延期の後、7月4日スタタスタの方針を固めた。しかし前期に関しては感染拡大防止の観点から、全試合を無観客で開催。試合は観客のいないグラウンドを含めた茨城県・龍ヶ崎市の3カ所の屋内競技場にて集中開催される。選手たちも専用のバスで会場入りを行い、感染予防に万全を期している。

第1節の試合は「思った以上のプレッシャーに動揺してしまった」(深澤主将)と、後半は「ビルドアップがうまくいくシーンが多く作れた」(深澤主将)と、猛攻するも得点ならず、無念の敗戦となった。試合後、佐藤監督は「全員が再認識した敗戦なので、これからは楽しみ」と第2節以降の試合に期待を膨らませた。

そして迎えた第2節の試合。12月16日以来の対戦相手である久保監督(経4)がスタメンに復帰した。「気分は入っていた」と久保は前半だけで1G1Aの活躍ぶり。高澤(健人文4)のシュートと合わせた前半2得点を決めると、主導権は中大が握った。後半に1点を返される場面もあったが、前半の得点を守りきり2-1で試合終了。前期リーグ戦初勝利を手にした。今試合が復讐戦でありながら、一番の存在感を示した大久保。佐藤監督も「大久保でリズムを作れた」と称した。

## 開雲見日

開東大学サッカー連盟は、YouTubeを通じて、リーグ戦前期の試合を生中継している。現地観戦はできなくても、生中継を通じて選手の躍動をリアルタイムで感じることもできるはずだ。

深澤主将は今後のリーグ戦に向け「球際や切り替えといった当たり前のことを徹底して、残り全ての試合で中大サッカー部が勝利を目指して最後まで走り続けたい。オンラインにはありませんが、是非応援よろしくお願いします」とファンメッセージを送った。

スポーツ界に差す一筋の光。リモート観戦。コロナ時代にひびつたりの新しいスポーツの楽しみ方だ。ステイホームを守りながら、中大スポーツ界の未来を応援しよう。(小林由香)

いではと想像して金茶にしました。

③素材について  
マスクの素材は水泳のキャップの素材を使っています。通気性も良く、何度も洗って使えます。お忙しい中取材にご協力いただきありがとうございます！

